

# 会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	平成28年度 第1回(通算11回) ジョンソン基地跡地利用計画 審議会
開 催 日 時	平成28年10月25日(火) 午後1時30分 開会、午後2時45分 閉会
開 催 場 所	入間市産業文化センター 2階 第2集会室
議 長 氏 名	関根 栄一
出席委員(者)氏名	青山 正一、安孫子 学、岩崎 茂、大賀志 日出輝、小鹿 広美、 澤田 壽一、鈴木 康雄、関根 栄一、高石 直美、高橋 康造、 中 良司、豊泉 一雄、吉川 弘三
欠席委員(者)氏名	岩井 絹江、瀧 和之
説明者の職氏名	課長 浅見 嘉之、主幹 荻野 勝弘
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 議 題 (1) 東町側留保地の整備に係る進捗状況について(公開) (2) 入間市駅前側留保地の今後の方向性について(公開) 3 その他 4 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0名
配 布 資 料	・資料1 東町側留保地に関するこれまでの経緯について ・資料1-1 ジョンソン基地跡地留保地(東町側)の防衛省による利用申し入れに対する要望書(写) ・資料1-2 ジョンソン基地跡地留保地(東町側)の利用申し入れについて(回答)(写) ・資料1-3 ジョンソン基地跡地東町側留保地整備関係者会議要綱 ・資料1-4 平成29年度概算要求における入間基地の災害対処拠点地区等の整備について ・資料1-5 入間基地隣接留保地の利用について(抜粋) ・資料2-1 次期総合計画(抜粋) ・資料2-2 ジョンソン基地跡地留保地利用計画書(抜粋)
事務局職員職氏名	企画部長 田中利之、次長 國田清男、企画課長 浅見嘉之 主幹 荻野勝弘、副主幹 亀田一生、主事 小畠秀章
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 (2)

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

#### ○議題(1)「東町側留保地の整備に係る進捗状況について」

防衛省による東町側留保地整備に関するこれまでの経緯、整備に向けた協議・調整の進捗状況、今後の予定について事務局より説明を行った。その後、委員からの質疑を受けて事務局が回答した。

#### ○議題(2)「入間市駅前側留保地の今後の方向性について」

入間市駅前側留保地の利用に関する検討状況について、事務局より説明を行った。その後、委員からの質疑を受けて事務局が回答した。

#### ○その他 「今後の本審議会運営について」

- ・ 入間市駅前側留保地利用計画については、本審議会に諮問できる段階に至っていない。
- ・ 諮問案件が無い状況で、本審議会運営を継続することは難しいため、委員の任期満了(平成28年12月16日)をもって、いったん閉じることになった。
- ・ 入間市駅前側留保地利用計画について、諮問できるようになった段階で、本審議会を再設置することになった。
- ・ 本審議会を再設置する際は、新たな委員の委嘱を行う。
- ・ 今後、東町側留保地の整備については、東町側留保地整備関係者会議において、要望事項の反映状況を含め、整備の進捗状況が確認されることになる。

会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)</p> <p>國田次長      それでは、定刻となりましたので、これより審議会を始めさせていただきます。はじめに、本年度、委員の交代がございましたので、ご紹介申し上げます。事前に配布をいたしました、次第の裏面に委員名簿を掲載しておりますが、上から８番目、埼玉りそな銀行入間支店の鈴木 康雄 様、並びに下から３番目、豊岡地区区長会選出の中 良司 様が、それぞれ前委員の駒月 理人 様、久原 愛生 様との交代での選出となりました。なお、お２人の委員には事前に委嘱状を交付済みであります。それでは、鈴木様から順に自己紹介をお願いいたします。</p> <p>鈴木委員      ただいまご紹介に預かりました、埼玉りそな銀行入間支店の鈴木と申します。この度、１０月の異動で入間支店の方に新しく着任をしております。まだ慣れないところもあり、ご迷惑をおかけするところもあるかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>中 委員      ただいまご紹介に預かりました、東町一番村自治会長の中と申します。今年４月から自治会長を仰せつかりました。目一杯やりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>國田次長      ありがとうございます。</p> <p>                 それでは、議題に入ります。議事進行については、会長をお願いいたします。よろしくお願いします。</p> <p>関根会長      皆さん、こんにちは。</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅見課長	<p>ただいまの出席委員は１３名で、岩井委員、瀧委員の２人から欠席の連絡を受けております。定足数に達しておりますので、これより、平成２８年度第１回 通算１１回目のジョンソン基地跡地利用計画審議会を開催いたします。</p> <p>本日の会議録署名委員は、議長のほか、名簿順により「高橋委員」を指名いたします。</p> <p>本日の会議については、諮問事項はございませんが、これまでの審議会の経過から、特に東町側留保地における答申後の経過について、事務局から報告がございます。</p> <p>よって、報告事項のみではありますが、事務局の説明をお聴き取りいただき、本審議会として東町側留保地の進捗状況について確認しておきたいと考えます。あわせて、入間市駅前側留保地についての、今後の方向性についても説明がありますので、お聴き取りをお願いいたします。</p> <p>また、委員各位には、慎重な発言と適切な討論を、改めてお願い申し上げます。</p> <p>それでは、早速、議事に入ります。「（１）東町側留保地の整備に係る進捗状況について」、を議題といたしますが、平成２７年８月の本審議会からの答申、並びに同年９月の、入間市長による正式受け入れ表明後の経過を中心とした内容の報告となるようです。それでは、事務局の説明を求めます。</p> <p>東町側留保地の整備に係る進捗状況につきまして、「本審議会から市長に対し、答申書の提出がなされてから、本日までの経緯について」と「整備進捗状況について」、また、最後に、「今後の予定について」、大きく３つの内容について申し上げます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>最初に、大きく１点目として、東町側留保地の整備に係る進捗状況について、答申書が提出されるまでの経緯について、改めて振り返りながら、答申書の提出以後、本日までの経緯についてご説明いたします。</p> <p>資料１「東町側留保地に関するこれまでの経緯」の１ページ目をご覧ください。</p> <p>平成１５年６月２４日、留保地に対する国の方針が「原則利用、計画的有効活用」に変わり、市は「ジョンソン基地跡地留保地利用計画」を平成２０年６月に策定したものの、財政難等を理由に、この計画に基づいた具体的な動きに至らず、そのままの状態が続いていました。</p> <p>このような状況の中、平成２６年９月１８日、防衛省から市に対して東町側留保地の利用申し入れについての要請書が提出され、市はこの要請に対しての検討が必要となりました。</p> <p>要請内容は、東町側留保地を大規模災害等への対応及び自衛隊病院の拠点化・高機能化の一環として、「災害対処拠点等施設」及び「自衛隊病院」の整備を計画しており、早期実現に向けて理解を求めるとのことでした。</p> <p>また、要請当時の話になりますが、財務省が所有している東町側留保地について、防衛省に所管換えする際には、市が平成２０年６月に策定した「ジョンソン基地跡地留保地利用計画」に十分配慮しながら協議を進めていくとのことでした。</p> <p>平成２６年１２月１７日になりますが、市はこの要請を受け、ジョンソン基地跡地利用計画審議会に、要請への対応について諮問し、この日から同審議会での審議が始まりました。</p> <p>平成２７年３月１０日、ここで初めて、防衛省の東町側留保地の具体的</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>な利用計画が、防衛省経理装備局施設整備課長から提供されました。</p> <p>次に、５月２９日、３０日の２日間、市民活動センターにおいて、市による説明会を開催しました。</p> <p>両日合わせて、８２名の参加があり、市民から寄せられた意見は、本審議会にも伝えてまいりました。</p> <p>そして、８月１８日、通算９回目の審議会において、防衛省の利用申し入れに対して、市は同意すべきとの答申をいただきました。</p> <p>以上が、答申までの経緯となります。</p> <p>次に裏面の２ページ目をご覧ください。</p> <p>ここからは、答申より後の本日までの経緯を示したものとなります。</p> <p>市は答申を受けた後、平成２７年８月２７日、北関東防衛局に対し、受け入れに対する要望書を提出いたしました。資料１－１を参考にご覧ください。</p> <p>その後、市議会からの意見や審議会の答申書に記載された附帯意見を踏まえ、９月１８日、市長は、東町側留保地の防衛省による利用要請について、正式に受け入れを表明し、９月２４日付けで、市は防衛省に対し正式に承諾する旨の回答文書を提出いたしました。その回答文書は、資料１－２でございます。参考にご覧ください。</p> <p>その後、市は、要望の実現に向け、防衛省と協議・調整してまいりましたが、平成２８年１月下旬には、防衛省による整備に向けての基本検討が始まり、６月８日には、関東財務局管財第２部から「東町側留保地の防衛省への所管換えが完了した」との報告を受けたところです。</p> <p>そして、８月３１日、防衛省から市に対して、旧東町側留保地の整備に係る平成２９年度の財務省への概算要求について、情報提供がありまし</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>た。</p> <p>一方、市は、庁内の関係する１６の部署で組織する留保地整備庁内連絡会議を立ち上げ、平成２８年５月１２日、１回目の会議を開催し、市民にとってより良い整備となるよう、庁内が一丸となって取り組む体制を築くことを確認しました。また、先日１０月４日には２回目の会議を開催いたしました。</p> <p>さらに、近隣自治会や小中学校、東町側留保地の整備に対する要望団体等により構成されるジョンソン基地跡地東町側留保地整備関係者会議を設置し、本年６月２９日と１０月１１日に会議を開催しております。資料１－３になりますが、この会議の要綱が参考に添付されています。</p> <p>この会議の目的は、防衛省による整備計画が、本審議会の附帯意見や各関係団体等の要望を反映させたものとなっているかを確認していただくことであり、市からは、引き続き要望事項の反映状況を確認しつつ、市民にとってより良い整備となるよう、防衛省と協議・調整を続けていく旨の説明をいたしました。</p> <p>そして、本日の通算１１回目のジョンソン基地跡地利用計画審議会の開催に至っております。</p> <p>以上で、東町側留保地の整備に関するこれまでの経緯についての説明を終わります。</p> <p>続きまして、大きく２点目として、整備進捗状況について、説明いたします。</p> <p>資料１－４の「平成２９年度概算要求における入間基地の災害対処拠点地区等の整備について」をご覧ください。</p> <p>（１）「概要」については、先ほどの経緯でも触れましたが、あらためて、平成２９年度概算要求における入間基地の災害対処拠点地区等の整備</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>に関して、ご説明します。</p> <p>現在、防衛省による基本検討が進められており、その中では、市議会を含めた市の要望事項や審議会の附帯意見、及び各要望団体の要望について、検討を進めております。この基本検討において、自衛隊病院、陸上競技場、ソフトボール場、サッカー場、及び災害対処拠点施設の配置が検討されています。その配置案に基づいて、今回の要求では、陸上競技場等各グラウンドを含む災害対処拠点施設の敷地造成費として約 6. 6 億円、自衛隊病院の造成費として約 3. 0 億円、合計約 9. 6 億円が複数年度の契約額として計上されています。</p> <p>次に（２）の災害対処拠点地区等の「概要図（イメージ）」をご覧ください。</p> <p>この概要図で示された施設の配置計画図について、ご説明いたします。</p> <p>災害対処拠点地区等の周囲は外柵、緑地帯、外周道路で覆われる予定です。</p> <p>訓練場は、有事の際、災害対処拠点施設として使用可能であるよう、何もない平地が整備される予定です。</p> <p>自衛隊病院の配置は中心から北西の位置となり、その南側は、陸上競技場、その東側は、サッカー場等となっております。こちらは、ソフトボール場も兼ねたグラウンドとして、要望事項を反映した計画となっております。</p> <p>駐車場については、開放区域の南に配置される計画となっております。また、駐車場の南側には事務所が置かれ、その場所に水飲み場とトイレを併設する予定とのことです。</p> <p>以上が概算要求で示された整備内容の説明となります。</p> <p>なお、この施設の配置計画はまだ案の段階なので、今後、変更となる可能性もございますので、ご留意願います。</p>



発 言 者	発 言 内 容
	<p>次に、資料１－１「ジョンソン基地跡地留保地（東町側）の利用申し入れに対する要望書」の写しをご覧ください。</p> <p>この資料は、平成２７年８月２７日に本審議会の答申書に添えられた附帯意見を踏まえ、市長が受け入れの最終判断をするために北関東防衛局長に対し、提出したものです。</p> <p>要望書には、４つの項目が示されておりますが、現時点での防衛省の対応状況について、報告いたします。</p> <p>最初に、「１ 災害対処拠点」について。</p> <p>要望内容には「市民の利用に供される運動場については、市民の要望が反映された整備内容となるように、また、市民が有効かつ円滑に利用できるようにするため、本市と協議調整を行うこと。」とあります。</p> <p>防衛省では、資料１－４の「概要図」にも示されているとおり、陸上競技場及びサッカー場兼ソフトボール場として、整備計画に反映するよう検討を進めているとのことでした。</p> <p>今後、具体的な要望事項について、市体育協会等のご意見をいただきながら、防衛省と協議調整を行ってまいります。</p> <p>また、利用方法についても整備の進捗状況に合わせ、庁内の関係する部署とともに協議してまいります。</p> <p>次に、「２ 自衛隊病院」について。</p> <p>要望内容には「自衛隊病院が、地域医療・救急医療体制の充実につながるよう、将来にわたり本市と協議調整を行うこと。」とあります。</p> <p>自衛隊病院については、まだ具体的に示されておりませんが、救急対応について、２次救急患者を受け入れることとしており、職域病院としての役割を踏まえたうえで、どのような対応が可能か地元医師会等と調整して</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>いくとしております。</p> <p>次に、「3 環境への配慮」について。</p> <p>要望内容には「緑地帯や各施設の整備にあたっては、騒音対策等周辺の生活環境への配慮がなされるよう、本市と協議調整を行うこと。」とあります。</p> <p>周囲を囲む緑地帯の幅員については、防衛省では当初15mの幅員ということで、計画に示されていましたが、これまでの防衛省、財務省、市の協議の中で、20mの幅員を確保するよう要望してきたところです。</p> <p>また、本審議会の答申書の附帯意見だけでなく、市議会からも同様の要望が出されていました。</p> <p>防衛省では、これらの要望を踏まえ、施設外との調和・景観等に配慮し、緑地帯を20m以上の幅員で、整備計画に反映するよう検討を進めているとのことです。</p> <p>また、工事車両等の通行については、具体的な回答は示されていませんが、防衛省では、近隣住民の生活環境等への影響が最小限となるよう十分に配慮するとしています。</p> <p>次に、「4 その他」について。</p> <p>要望内容には「防衛省が当該留保地を利用するにあたり、基地周辺の生活環境の整備に十分配慮がなされるよう、本市と協議調整を行うこと。」とあります。</p> <p>今後も市では、平成20年6月に策定した「ジョンソン基地跡地利用計画書」に沿った整備内容になるよう、また、基地周辺の生活環境の整備に十分配慮がなされるよう、留保地整備関係者会議の委員の皆様に進捗状況の確認をしております。</p> <p>一方、防衛省においても、市からの各要望事項を反映するよう努めていただいているものと理解しております。本市としては、引き続き、各要望</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>の実現に向けて、防衛省と粘り強く協議を続けていく考えであります。</p> <p>以上が整備進捗状況の報告となります。</p> <p>最後に、大きく３点目として、整備スケジュールについて説明いたします。</p> <p>資料１－５をご覧ください。</p> <p>これは、平成２７年３月に防衛省から提供があった「入間基地隣接留保地の利用について」の１１ページに記載がある工事概要と同じ内容になります。</p> <p>先日、整備スケジュールについて、防衛省に確認したところ、この資料から、変更はないとの説明でありました。</p> <p>具体的には、本年度が調査工事と基本検討、平成２９年度にかけて設計、平成２９年度～３１年度にかけて本体工事、そして、使用開始を平成３２年度内というスケジュールに沿って、進めているということでした。</p> <p>なお、整備スケジュールの変更がある場合には、市公式ホームページで公表してまいります。</p> <p>以上で、議題（１）の東町側留保地の整備に係る進捗状況についての説明を終わりにいたします。</p> <p>事務局の報告が終わりました。ただ今の報告事項についてのご意見、ご質問をお受けします。</p> <p>中 委員</p> <p>工事車両の通行がどうなるか決まっていないとのことですが、隣接する小中学校もあります。市としては、どのような考えで調整を行っていくのでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅見課長	<p>工事車両につきましては、幹 2 号線という東町側留保地の南側に隣接している道路は使わず、北側の基地の門の方を使って出入りする方向で、協議調整をしていきたいと考えております。</p>
関根会長	<p>他にご意見、ご質問等はございますか。</p>
澤田委員	<p>先般、入間市の陸上競技関係の方から、個人的に話したときに聞いた話ですが、その方は、「陸上競技場は公式な競技場で、公認のタイムが取れるような陸上競技場ができることになった。」と言っていました。</p> <p>そんな話は聞いたことがなかったので「それは、これから防衛省と相談して決めていくはずだ。」と話をしました。</p> <p>このような話がでるということは、この前の関係者会議等で誤解を招くような発言が市当局からあったのではないのでしょうか。行政側は、説明をするときには、いろいろな事をよく調べて、発言には気をつけていただきたいと思います。</p>
浅見課長	<p>施設整備につきましては、未確定な部分もございますので、事務局としても発言には気をつけてまいりたいと思います。</p> <p>詳細につきましては、体育協会とも協議しながら、防衛省と協議調整してまいりたいと思います。</p>
関根会長	<p>他にご意見、ご質問等はございますか。</p> <p>ご質問がなければ、これで議題(1)は終了とします。</p> <p>次に議題「(2) 入間市駅前側留保地の今後の方向性について」、事務局より報告があります。事務局の説明を求めます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅見課長	<p>次に、入間市駅前側留保地の利用計画案に関する検討状況について報告します。</p> <p>本年6月議会における、市長への一般質問に対する答弁にもございましたが、現在、事務局において、利用計画案の策定に向けた基本方針について再検討を進めているところでございます。</p> <p>市長答弁においては、『現在策定中の次期（第6次）総合計画の中では、現行の第5次総振に示している「調査・研究」段階から、新たに「検討」へと進め、利用計画案策定に向けて、検討の前提となる基本方針の策定に取り組む』としております。詳細につきましては、資料2－1をご覧くださいと思います。</p> <p>9月議会において、第6次総合計画の基本構想が議決されましたが、その議案添付資料として、前期5箇年の基本計画を提示いたしました。入間市駅前側留保地については、第4章「住みやすく緑豊かなまちづくり」の第1節「計画的な土地利用の推進」の第3項に記載しております。裏面をご覧ください。第3項の内容を掲載しております。</p> <p>この基本計画において、まず「目指すべき姿」として、市では、入間市駅前側留保地が、入間市駅という本市の中心拠点に位置することから、「まちのシンボル」となる、いわゆる「市の顔」となるべきものの形成が必要と考えております。この点について、再検討を進めている段階です。</p> <p>また、「施策の課題」として、具体的な利用計画案については、「実現可能な計画へと見直しを図る」としており、資料2－2、平成20年6月策定のジョンソン基地跡地留保地利用計画検討チームの提示した計画案、及び平成26年度に実施した次期総合計画策定調査業務における参考案を踏まえ、現在、関東財務局と利用計画案に関する意見交換を、本年7月15日に始めたところでございます。今後も継続して、意見交換を行うこと</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>になっております。</p> <p>また、6月議会での市長答弁にもございましたが、「実現可能な計画への見直し」としては、財源確保が重要課題であります。方向性としては「公共主導による整備」から「民間活力の導入」も含めた検討を進めることになろうかと思います。</p> <p>さらに、資料の一番下に示しましたとおり「協働のとりくみ方向」として、利用計画案策定にあたりましては、「市民との意見交換を行う機会を設ける」としております。市としましては、ある程度の素案がお示しできるようになった段階で、市民の皆様のご意見を伺う予定でございます。</p> <p>なお、その前段として、基本方針の策定を含め、まず庁内での検討を図るため、職員に対し意見等を聴くことを考えており、できれば今年度中に庁内意見聴取を行い、その意見を集約していきたいと考えております。</p> <p>今後は、入間市駅前側留保地について、活気があふれ、「入間市の顔」として形成されるような利用計画案策定に向け、「市民の皆様の意見の反映方法」も含めた庁内の検討を進めていきたいと考えております。また、関東財務局を含む関係機関との協議・検討についても加速して参ります。</p> <p>以上で、入間市駅前側留保地利用計画案の検討状況についての説明を終わります。</p>
関根会長	<p>事務局の報告が終わりました。ただ今の報告事項についてのご意見、ご質問をお受けします。</p>
大賀志委員	<p>資料2-2の3ページに記載の(7)ゾーニングについて、Cゾーンが極端に小さいですが、なぜでしょうか。</p>
浅見課長	<p>Cゾーンは駅前広場の拡張ゾーンであり、現在、入間市駅南口の駅前広場が若干、手狭だということで、留保地7.6ヘクタールを開発するとき</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>には、Cの部分まで拡張して駅前広場全体を作り変えるという付録的な意味合いがございます。</p>
大賀志委員	<p>A・B・Cを合計した面積は、7.6ヘクタールで変わらないということでしょうか。</p>
浅見課長	<p>はい。財務省によると7.4ヘクタールという説もありますが、正式に測量していないため、市としては7.6ヘクタールという数値でお示ししています。Cゾーンを含めて7.6ヘクタールでございます。</p>
大賀志委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
関根会長	<p>他にご意見、ご質問はございますか。</p>
岩崎委員	<p>今回は、市長選挙で田中市長が圧倒的な強さで当選されました。私は、出陣式から最後の街頭演説まで聞いておりましたが、全く駅前側留保地の話が出てこなかったことについて、市長の留保地に対する関心度や、やる気を心配している1人です。このことについては、市長から企画部局に何か指示がされているのですか。</p> <p>4年前に市長選に初めて出たときは1番目の大きな公約が、ジョンソン基地跡地の活用であり、当選した大きな要因はそこにあったと思います。2期目になった途端、口を塞いでしまったのはどういうことなのか、市長の1番近くにいる企画部長はご存知であると思うので、ご説明いただきたいと思います。</p>
田中部長	<p>岩崎委員のご質問に全て答えられるか分かりませんが、4年間のやり取りも含めてお話させていただきます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
岩崎委員	<p>確かに、1期目の選挙公約の中で、駅前側留保地の活用が示されていることは、私たちも承知しており、「駅前側留保地の活用を進めるように」、との指示のもと、この間、関わってまいりました。</p> <p>市長が就任したこの4年間、実現可能性という部分を探ってこられた中で、今回実現できなかった1番の要因は、財源の確保や、土地利用が不明確なところをどうしていくか、そういったところであり、入間市の財政状況を考えると、この4年間で具体的に方向性までを見出すことはできなかったということだと思います。</p> <p>そのような中で、先ほど企画課長が説明しましたように、駅前側留保地の活用について、第5次総合振興計画で「研究」という言葉を使っていたが、来年から始まる第6次総合計画の中では「検討」の段階に進めるという意味では、現市長が就任する前の計画よりはステップアップしております。</p> <p>しかしながら、財源の裏づけと市民の皆様との意見交換は当然必要なことでありますので、市長としても総合計画の中で記述されていることを踏まえての、2期目という面持ちではないかと考えております。</p> <p>市長が、公約の実現といった意味でどういう評価をされているか、直接伺ったことはございませんが、そういったことを掲げて当選されたのは事実だと思います。</p> <p>市長は、本日出席する予定でございましたが、都合により欠席となってしまうので、ご意見については、しっかりと市長に伝えていきたいと思っています。大変申し訳ありませんが、私のレベルでのお話とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>先ほど申し上げたように、意識のダウンを感じるような選挙戦であったと、多くの市民もそう思っています。期待感が薄れてしまったというところも投票率低下の要因ではないでしょうか。</p>



発 言 者	発 言 内 容
田中部長	<p>幸いにして、説明の中で「民間の意見」、「検討」というお話が出てきておりますので、ぜひその辺を取り上げて、十分に民間からの意見を「検討」の中に加えていただきたいと思います。</p> <p>私は市長に、市長が当選した暁には、民間との話し合いを行うようにと、文書でお願いしてあります。そのときには、ぜひ、企画部の皆さんも同行していただいて、市長の背中を押してあげるような役割をしていただきたいと思います。</p> <p>市長の次の任期の４年間、前回と同じような形で進むことが、我々としては危惧しているところであります。くれぐれもよろしくお願いします。</p> <p>私共は、執行部という形で市長の命に基づいて、仕事をしているわけですが、駅前側留保地の活用に関して重要となる部分についても、今後は受けとめさせていただきたいと思います。</p> <p>しかしながら、市全体の、留保地以外の重要課題も山積しているのも事実でございますので、市長としっかり意見交換し、その中で意思決定を図っていききたいと、そのように考えております。どうぞよろしくお願いします。</p>
岩崎委員	<p>よろしくお願いします。</p>
大賀志委員	<p>岩崎委員の質問に関連しますが、資料２－２の１ページにある（２）整備コンセプトの②の中に、「民間資本等の積極的な活用」「民間のノウハウによる開発を促進」とありますが、これは実際にスタートしているのでしょうか。それともまだなののでしょうか。というのは、我々が前回の審議会で現地視察を行った昭島市では、広大な土地を民間活用でお金を集めて整備をしています。</p> <p>入間市駅前側留保地は、あれだけの土地を有効活用できるのだから、入</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅見課長	<p>間市にとっては千載一遇のチャンスです。商業地区は埼玉県内ではほとんど東側にあります。幸いにして、三井アウトレットパークやコストコは入間市に来てくれましたが、これは、彼ら独自の市場調査とマーケティングによってあの場所にできたものです。</p> <p>今度は、企画部が先頭に立って、駅前の土地をどうやって開発していくのか、早くスタートしないと、なかなかうまくいかないと思います。</p> <p>岩崎委員の質問にもありましたように、本当にやる気があるのであれば、全部は言えないにしても、今日の段階でここまで進んでいるという回答をぜひ聞きたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>まず、駅前側留保地の開発等に係る民間のノウハウについては、まだ全く民間との接触はできていないのが実情でございます。</p> <p>本日資料はありませんが、民間の可能性について、平成26年度に実施した第6次総合計画のための基本調査で、留保地に対する民間の関心度は量っておりますが、直接業者と接触しているわけではございませんので、今後、検討してまいりたいと思います。</p>
大賀志委員	<p>そんなペースで間に合うのでしょうか。</p> <p>平成20年に留保地利用計画を策定して、厳しく言うところまで何もしていなかったのだと思います。何かしていれば、今の段階でももう少し具体的な話が聞けると思います。市長にも、ジョンソン基地跡地に関わっている幹部の方々にも怒りを感じています。今日の審議会の議題にもなっているのだから、ここまではやりましたという回答を聞きたかったです。平成20年から8年間、何もやっていなかったと感じますが、違いますか。今日の会議は、非常に残念な気持ちで一杯です。</p>
浅見課長	<p>先ほど企画部長の答弁にもありましたが、来年度からの第6次総合計画</p>

発 言 者	発 言 内 容
大賀志委員	<p>の前期基本計画の中に「検討」という言葉を使い、一步前進というところは示しましたが、8年間何もやっていなかったと言われると、それを完全に否定することができないのも事実でございます。申し訳ございません。</p> <p>審議会について、我々の任期は12月までなので東町側留保地の審議会は今日の会議で終わりになると思いますが、駅前側留保地の審議会は開かれるのでしょうか。もし開かれるのであれば、人員はどのような形で選ばれるのか伺いたいと思います。</p>
浅見課長	<p>まず、駅前側留保地について、審議会は開かれます。ただし、その時期については現在未定でございます。これはまた後ほどご説明させていただきたいと思っております。</p> <p>また、審議会の委員につきましては、新たに15人以内を選任いたします。以上です。</p>
関根会長	大賀志委員、よろしいでしょうか。
大賀志委員	はい、結構です。
澤田委員	<p>今、2人の委員から具体的な意見がありましたが、私は基本的には駅前の留保地に市が手を加えることは大反対です。なぜかという、今、入間市は区画整理を4ヶ所手がけており、残念ながら市には財源と人材がありません。有能な人材がいればいいと思いますが、4ヶ所の区画整理に20数年かけている市のレベルでは、とても新しい問題に手をかけることはできないと思います。</p> <p>国や民間を使って、開発を行うなら結構ですが、入間市の財政状況では市としてお金を出すことはできません。しかもあのような傾斜地にどのよ</p>

発 言 者	発 言 内 容
岩崎委員	<p>うなものを作るのか、個人的には不可能だと思っています。</p> <p>私たちは任期が１２月で終わりになりますが、もし、駅前側留保地の審議会ができるのであれば、岩崎委員には申し訳ないですが、駅前の再開発には反対を唱えていきたいと思っております。以上です。</p> <p>借金があるからできないというのではなく、可能な限り、民間からのお金を使って開発を行うことが、駅前側留保地はできるのではないかと、傾斜地特有のおもしろいまちづくりができるのではないかと、ということが我々の考えにあります。</p> <p>「民間との話し合い」、「市民との話し合い」、「民間の資本を使って」という話が先ほどありましたので、そのあたりをしっかりとやっていただくためには、とにかく勉強していただきたいと思います。我々も勉強させていただきますので、くれぐれもよろしくお願いします。</p>
関根会長	<p>他にご意見、ご質問ございませんか。</p>
大賀志委員	<p>資料２－２に「民間資本の積極的な活用」、「民間のノウハウによる開発を促進」とありますが、これにはそんなにお金がかからないと思います。今の業務の中で行えることだと思うので、１日も早く、民間の方々とどういう接触をするか、そこからスタートすれば、そこまで膨大な予算は必要ないと思われます。</p>
澤田委員	<p>私は、民間が開発することについて反対しているわけではありません。国の公共施設ができれば、市がお金を出すことなく開発ができます。しかし、その場合、市の意向が反映された開発にはなりません。私は、入間市はお金を出すことは不可能であると言っているだけです。</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>岩崎、大賀志委員 関根会長</p> <p>浅見課長</p> <p>関根会長</p>	<p>よくわかりました。</p> <p>他にご意見、ご質問等ございませんか。</p> <p>ないようですので、以上で、本日の議題はすべて終了しました。</p> <p>ここで、私から１点、事務局に確認します。</p> <p>本審議会の役割としては東町側だけではなく、入間市駅前側留保地の利用計画についても審議することではありますが、委員の任期は、本年１２月１６日をもって満了となります。先ほどの報告や、本年２月の視察時に事務局からあった「今後の取り組み方向」の説明では、入間市駅前側留保地の利用計画については、まだ審議する段階ではないように聴き取れます。事務局の率直な考えを求めたいと思いますが、いかがですか。</p> <p>只今、会長から確認されました、入間市駅前側留保地利用計画検討の現状についてですが、ご指摘のとおり、当該留保地の利用計画については、まだ本審議会に諮問できる段階には至っていないと考えております。</p> <p>本年２月の昭島視察の車中で、私が申し上げましたとおり、今後の取り組みについては、まず「具体的な利用計画策定に向けた検討の前提となる基本方針の策定」に着手することです。先ほど報告申し上げたとおり、関東財務局を含む関係機関との意見交換など、事務局において基本方針策定に向けての検討を行っている状況であり、利用計画案の是非をご審議いただく段階までには、まだ年単位の時間を要するものと見込んでおります。以上です。</p> <p>只今の事務局の考えを聴いた限りでは、任期内だけでなく、今後当面の間は審議会としての審議を要する案件が無く、諮問・答申自体が、年単位で行われない、つまり当分審議会は開かれない見込み、という理解でよろ</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅見課長	<p>しいですか。</p> <p>そのようにご理解いただければと思います。</p>
関根会長	<p>そうしますと、事務局では、今後の審議会運営については、どのように考えていますか。</p>
浅見課長	<p>事務局としましては、今年度の任期満了をもちまして、いったん、本審議会を閉じさせていただきたいと考えております。</p> <p>先ほどもご報告しましたとおり、東町側留保地整備については、近隣住民の方々、各要望団体代表者等によって構成される関係者会議が発足されたため、今後の要望の反映状況については、この会議の中で確認されていくことになっております。また、東町側は財務省から防衛省へと所管換えが行われ、事実上、「留保地」ではなくなりました。</p> <p>一方、入間市駅前側留保地については、本審議会として審議をいただく状況には至っておらず、利用計画案を諮問するまでには、年単位での時間を要することが見込まれます。このことから、駅前側留保地については、具体的な利用計画案ができた段階で改めて審議会を設置し、諮問させていただきたいと考えております。</p>
関根会長	<p>只今の事務局説明を受けた中では、私としても、諮問案件が無い状況での審議会の継続は、難しいものと理解しましたが、委員の皆様のお考えはいかがでしょうか。</p> <p>もし、事務局の考えに異論がなければ、審議会を閉じるという取り扱いを承諾したいと思います。</p>
委 員	<p>異議無し</p>

発 言 者	発 言 内 容
関根会長	<p>ありがとうございます。では、本審議会を12月16日の任期満了をもって、閉じることに同意したいと思います。</p> <p>事務局においては、入間市駅前側留保地の利用計画の前提となる基本方針の検討を加速していただき、あまり期間を置くことなく審議会を再設置して、諮問できるよう努力していただくようお願いします。</p> <p>また、委員の皆様におかれましては、特に東町側留保地に係る防衛省の利用申し入れに対する審議について、真摯にご審議いただきましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。</p> <p>なお、私も東町側留保地整備関係者会議のメンバーになっておりますので、今後の当該留保地に関する要望事項の反映状況含め、整備の進捗状況を見守ってまいりたいと考えております。</p>
豊泉委員	<p>私も、東町側留保地整備については、関係者会議の委員ですので、引き続き、関根会長ともども、見守ってまいりたいと思っております。</p>
浅見課長	<p>皆様、ありがとうございます。それでは、任期満了をもって本審議会を閉じさせていただき、入間市駅前側留保地利用計画の進捗状況に応じて、再設置することとさせていただきます。</p>
関根会長	<p>他に、ございますか。無いようでしたら、進行を事務局にお返ししたいと思います。</p>
國田次長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、「その他」に移ります。まず事務局より事務連絡がございます。</p>
荻野主幹	<p>2点ほど事務連絡を申し上げます。</p> <p>1点目は、皆様の報酬について、でございます。本審議会の委員報酬に</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>ついては、報酬の受領を辞退されている委員を除きまして、事前に登録いただいている皆様方の口座に、後日振り込ませていただくこととなります。</p> <p>また、本日、別の審議会等に出席された、または、これから出席される委員におかれましては、本会議終了後、事務局までお申し出くださるようお願いいたします。</p> <p>2点目は、今後の審議会の開催予定についてです。本審議会の委員の皆様におかれましては、本年12月16日をもって任期満了となりますが、任期中の開催予定はございません。その後については、先ほどご確認いただいたとおり、入間市駅前側留保地利用計画について、諮問できるようになった段階で、本審議会を再設置することとなりますが、その際は、新たな委員の委嘱を行うこととなりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。</p> <p>事務局からの事務連絡は以上です。</p>
國田次長	<p>只今の説明について、ご質問等はございませんか。</p> <p>全体を通して、ご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
委 員	無し
國田次長	<p>ご質問等無いようでしたら、以上をもちまして、平成28年度第1回のジョンソン基地跡地利用計画審議会を終了とさせていただきますが、最後に企画部長より挨拶を申し上げます。</p>
田中部長	<p>本日は、大変お忙しい中、出席をいただきありがとうございます。</p> <p>ここで、市長から皆様方への御礼の言葉を預かってまいりましたので、お伝えさせていただきます。</p>



発 言 者	発 言 内 容
<p>國田次長</p>	<p>市長については、本日出席予定でございましたが、８月２２日の台風９号による豪雨災害により、河川の被害を受け、その整備促進に関しまして、所沢、狭山の両市長と国土交通省へ急遽、要望活動を行うことになりました。</p> <p>そのため、市長には御礼のご挨拶を作ってください、私に述べるよう託されましたので、お時間をいただきたいと思います。</p> <p>(御礼文代読)</p> <p>以上でございます。本日はどうもありがとうございました。</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

28年12月7日

議長の署名

関根 栄一

議長が指名した者の署名

高橋 康造